

# 多角的な思考力を育てる学習指導の工夫

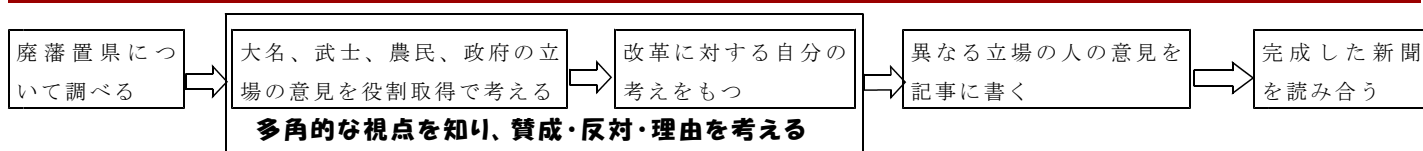
～資料をもとにした新聞づくりに異なる視点の記事を入れて～

生徒は

社会・公民班 城田洋子 (中学校教諭)

**考えることはきらいだ！ めんどうだ！ わからない！**

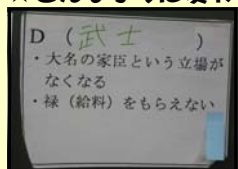
**楽しい新聞づくりと読み合いの学習を通して考える力を育成しよう！**



解決策は

## ワークシートの工夫

★こんなふうに変った人々は？



クイズ形式で資料を提供！

★廃藩置県に賛成？反対？理由は？付箋に書こう！

意見交流後に付箋を戻して…

★多角的な視点から判断すると…

## 付箋を活用した意見交流

★発表して付箋を貼ると…

賛成、反対がはっきりするね！

★友達はどう考えたの？

- ・異なる立場の人は賛成？反対？
- ・理由は同じ？ 違うかな？
- ・同じ立場でも意見がちがうね！



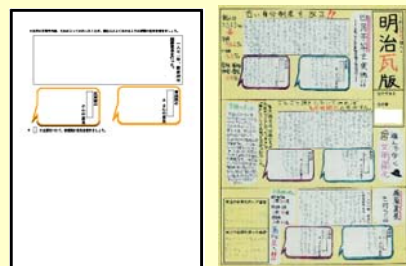
## 多角的な視点の記事

★どの改革の記事を書こうか？

★どの立場の意見を採り上げる？

★切って貼るだけ！見出しを工夫

★友達はどのように書いているの？



**賛成！反対！なぜなら…わたしはこう考えました！**

**異なる立場、同じ立場のいろいろな考えに気付きました！**

**異なる立場の人の記事を書き、楽しく作成できました！**

成果

- ◎生徒たちは、異なる立場にたって賛成・反対と理由を考え、意見交流によって友達のことを参考にしながら、明治政府の改革に対して多角的に考え、判断することができた。
- ◎生徒は自分一人で新聞を作成し、読み合い、いろいろな考えや友達の良いところに気付くことができた。
- ◎付箋を活用したことで、話し合う観点が明確になり意見交流が活発になった。

課題

- ★根拠となる資料をもとにして意見を練り上げていく意見交流の力を身につけさせたい。

(担当指導主事 研究企画係 中西信之)